田原市立泉小学校　令和８年度１０月号　　令和８年１０月３０日

泉小だより

清美
校訓

学校教育目標　心豊かでたくましい子　〇深く考える子　〇がんばりぬく子　〇助け合うやさしい子
令和8年度 泉小学校スローガン　子どもも 大人も ともに学び合い 高め合う

あきらめない心に感動！ 全校児童でｱｼﾞｱﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸ「車いすラグビー」を観戦
～ 石川勝様のあたたかい寄附金に感謝、選手から学んだ「前向きに生きる力」～

校長　小笠原 俊範

興奮と感謝に包まれた特別な一日



１０月２０日（火）は、いよいよ待ちに待ったアジアパラリンピック「車いすラグビー」全校観戦の日でした。私たち全校児童と教職員は、大きな期待を胸に貸切バスへと乗り込み、刈谷市にある「ウイングアリーナ刈谷」に向かいました。世界トップレベルの熱戦を観戦し、実際に肌で感じるために応援に赴きました。

今回の全校応援という大きな行事が実現した背景には、石川勝様からのあたたかい「寄附金」の存在があります。刈谷市までの移動にかかる貸切バスの料金は、すべて大切な寄附金から賄われました。なお、観戦入場料につきましては、昨年度に泉小学校が希望して応募し、抽選により当選したものです。



泉小全員がそろってこのような貴重な国際大会を観戦し、本物の体験を通して学ぶ機会をいただけたことは、石川様の児童への深い愛情、そして保護者のみなさまのご理解があってこそであると思っています。児童一同、教職員一同、学校を支えてくださるみなさまへ、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

地響きのような衝撃！車いすラグビーの凄まじい魅力

ウイングアリーナ刈谷に到着し、会場へと足を踏み入れると、そこは日常の学校生活では味わえない圧倒的な熱気と興奮に包まれていました。私たちにとって、会場で車いすラグビーを生で観戦することは初めての体験でしたが、試合が始まると、子どもたちの目は瞬く間にコートへと釘付になりました。

車いすラグビーというスポーツの最大の魅力は、パラスポーツの種目の中で唯一、激しいタックル（接触）が認められている点にあります。選手たちが猛スピードで走り抜け、車いす同士が正面から激突するたびに、「ドン！」「ガッシャーン！」という地響きのような凄まじい衝撃音が会場全体に響き渡ります。その迫力は想像をはるかに超えるもので、客席からは思わず「おぉー！」という驚きの声が上がりました。気付けば全校児童が大きな声で声援や拍手を送り、夢中になって選手たちを応援していました。

選手たちの「心」が教えてくれた「教育的な価値」

約１年前から計画し始めた今回の行事には、全校児童に「実際に生で見て感じてほしい」というねらいがありました。コートに立っている選手たちは、みな体に大きな障害をもっています。病気やケガをして、ある日突然、手や足が動かせなくなった人もいたでしょう。とても悲しくて、悔しくて、やり場のない怒りを感じて、「なぜ自分が？」と何度も自問自答したはずです。時には、生きていくことをあきらめたくなった瞬間さえあったかもしれません。

しかし、選手たちはそこで負けませんでした。「うまくいかなくても、思い通りにならなくても、絶対にあきらめない」。そうやって、強い心で立ち上がり、前を向いて練習を重ね続けてきたからこそ、今の輝く姿があります。



きっと、子どもたちは、試合やすばらしいプレーだけではなく、選手たちの「あきらめない心」もしっかりと見てくれたものと信じています。困難に向き合いながらも前向きな姿勢で生きていくことの格好よさを一人一人が心に刻んでくれたなら、これほどまでにうれしいことはありません。

前向きな気持ちで生きていく

子どもたちが世界を舞台に戦う選手たちの強い心に触れたことは、これからの人生においてとても価値のある経験となりました。観戦後の感想では、すばらしい言葉があり、とてもうれしく思いました。

〇「勉強や運動、うまくいかなくて落ち込むことがあったけれど、選手たちを見て、あきらめずに挑戦し続けることが格好いいと気付かされました」
〇「体に障害があっても、一生懸命戦っている姿を見て、勇気をもらいました」
〇「これからの人生で嫌なことがあっても、前を向いていきたいです」



私たちはこれからの人生の中で、何度も大きな壁にぶつかるはずです。自分の努力が実を結ばなかったり、予想外のトラブルに悩まされたりすることもあるでしょう。そんな時こそ、ウイングアリーナ刈谷で目撃したあの激しい熱戦と、選手たちの「あきらめない気持ち」を思い出し、一歩ずつ前を向いて生きていく力に変えていきたいものです。

今後も泉小の学校教育目標「心豊かでたくましい子」の育成、そして泉小スローガンである「子どもも 大人も ともに学び合い カを高め合う」の実現を目指し、保護者、地域のみなさまとともに歩んでまいります。今後とも、あたたかいご支援をよろしくお願いいたします。



― 学校公開日・学校保健委員会・祖父母学級・観劇会 ―

１０月１５日（木）・１６日（金）に学校公開を行い、たくさんの保護者のみなさまに授業や生活の様子など、子どもたちのいきいきとした姿をご参観いただきました。当日は、この日を楽しみにはりきる姿や、少し緊張した表情など、子どもたちの様々な様子が見られました。



○ 第２回学校保健委員会（１６日）

前田スクールカウンセラーに、「レジリエンス（心の回復力）」についてご講演をいただきました。児童、教職員、保護者のみなさまが自分の心に向き合い、自分の心について考える大切な時間となりました。

○ 祖父母学級・観劇会

たくさんの祖父母のみなさまをお迎えし、子どもたちと一緒に演劇を鑑賞しました。役者さんの迫力ある演技や息遣いを肌で感じ、テレビやタブレットなどでは味わえない「本物」の舞台を世代を超えてともに楽しむ有意義なひとときとなりました。



― ふるさと学習に取り組んでいます ―

泉小の子どもたちが、小学校区について知り、よさを感じ、ふるさとへの愛着心を高め、体験を通して学べるよう「ふるさと学習」に取り組んでいます。また、校区外に出かけたり、出前授業なども積極的に取り入れたりしています。１０月に各学年で行った学校行事、校外学習、出前授業などをご紹介します。

１０月　５日（月）１組　校外学習 泉市民館
１０月　５日（月）３年生 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 表現活動ワークショップ
１０月　５日（月）４年生 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 表現活動ワークショップ
１０月　６日（火）６年生 修学旅行　１日目 京都府
１０月　７日（水）６年生 修学旅行　２日目 奈良県
１０月　７日（水）４年生 ジャンボかぼちゃ品評会出品
１０月　７日（水）４年生 校外学習 表浜海岸清掃三遠
１０月　８日（木）２年生 大根種まき
１０月　８日（木）３年生 オンライン授業 全国一斉盲導犬教室
１０月　８日（木）２年生 校外学習
　どろんこ村・住吉神社・CAFÉ ななつやま
１０月１３日（火）４年生 AI 語り部を活用した浸水防災教室
１０月１３日（火）５・６年生 航空宇宙産業出前講座
１０月１６日（金）２年生 芋のつる レースづくり
１０月１９日（月）全校児童 芋堀り
１０月２２日（木）２年生 大根の間引き
１０月２２日（木）２年生 校外学習
　（株）マリンテック・小笠原米店・清水屋製菓舗
１０月２２日（木）３年生 ハッピーランチ（親子給食）
１０月２２日（木）３年生 松の菰巻き
１０月２３日（金）２年生 大根の葉の菜飯
１０月２３日（金）全校児童 泉市民館まつり作品展示
１０月３０日（金）全校児童・教職員 田原文化祭作品展示





どの学年の子どもたちも、地域への理解をより深め、ふるさとのよさを身近に感じる機会となりました。ご協力いただきましたみなさま、本当にありがとうございました。

― バスケットボール（ｽﾘｰ･ｵﾝ･ｽﾘｰ）コート完成 ―

運動場東側のなかよし花壇付近に３on３用のバスケットボールコートが完成しました。９月中旬からコミュニティ・スクールの方々と教職員がカを合わせて作業を続け、１０月１３日（火）に全校児童へ披露目を行いました。なお、バスケットゴールは、石川勝様からの寄附金をご活用させていただきました。お披露目会では、全校児童が観戦する中、児童 vs 教職員、児童 vs 地域の方でスリー・オン・スリーの試合を行いました。白熱したプレーに子どもたちからは、大きな歓声や拍手が沸き起こりました。



― 永田 徹 様 より ご寄附をいただきました ―

伊川津町出身の永田ムラ様は、昭和３９年から昭和５５年まで、泉小学校で用務員としてご勤務されていました。永田ムラ様の「泉小学校のために寄附をしたい」というご遺志を継がれ、ご子息の永田徹様が泉小学校に１００万円をご寄附いただきました。永田徹様は、泉小学校の宿舎に３年間お住まいでいらっしゃいました。寄附金は、子どもたちの教育活動の充実や教育環境の改善などのために大切に使わせていただきます。本当にありがとうございました。





― 泉小ブログ ―

子どもたちの活動、地域の方、保護者の方などが泉小に関わっていただいた様子、その他、学校の様子などを情報発信しています。ご覧いただけましたら幸いです。